

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立かながわアートホール
 指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団
 施設所管課 県民局くらし文化部文化課

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	月報等で適切に業務が行われていることを確認した。
11月	12月10日	月報等で適切に業務が行われていることを確認した。
12月	1月11日	月報等で適切に業務が行われていることを確認した。
1月	2月10日	月報等で適切に業務が行われていることを確認した。
2月	3月10日	月報等で適切に業務が行われていることを確認した。
3月	4月11日	月報等で適切に業務が行われていることを確認した。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

< 提案内容の概要 >

県の環境方針への配慮に関する取組みについて、省資源、エネルギーの節減の対応等を提案した。

< 実施状況 >

館の正面自動ドア前の照明器具を消費電力が少なく長寿命のLEDのものにした。

< 提案内容の概要 >

事業の実施に関する業務について、神奈川フィルとの連携によるカジュアル・コンサートの実施及び指定管理業務外として子ども向けの内容に重点をおいた企画を提案した。

< 実施状況 >

カジュアル・コンサートの実施日及び来場者

平成23年1月16日 入場者数: 283名

子どもに重点をおいた企画イベントの実施日及び来場者 12月27日: 102名

< 提案内容の概要 >

音楽情報コーナーに関する業務として所蔵のCD及びDVDを活用したコンサートの実施等を提案した。

< 実施状況 >

・CD・DVDコンサートの実施日及び来場者

10月22日: 10名、11月18日: 12名、12月16日: 13名、1月14日: 12名、2月19日: 13名、3月4日: 16名

< 提案内容の概要 >

その他アートホールの設置目的を達成するための事業の実施に関する業務としてストリートミュージシャン等への発表の場の提供を提案した。

< 実施状況 >

ほどがや区民まつり(10月16日)の開催に合わせてアート正面玄関前のスペースを演奏場所として提供した。2団体が演奏を実施、数十名が鑑賞した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
		指定管理 料	利用料金(前年 同月料金額)	その他 収入		
年間予算	125,268	105,048	15,680	4,540	125,268	0
上半期計 (a)	53,061	43,019	7,712 (5,708)	2,330	51,281	1,780
下半期計 (b)	70,739	62,029	6,526 (7,896)	2,184	72,519	△ 1,780
(参考) 10～2月計	53,109	45,557	5,740	1,812	53,296	△187
10月	10,349	8,754	1,183 (1,274)	412	9,890	459
11月	9,840	8,284	1,187 (1,588)	369	8,882	958
12月	12,105	10,493	1,268 (1,397)	344	12,049	56
1月	9,750	8,490	884 (1,180)	376	11,167	△ 1,417
2月	11,065	9,536	1,218 (1,208)	311	11,308	△243
3月	17,630	16,472	786 (1,249)	372	19,223	△ 1,593
合計(a+b)	123,800	105,048	14,238	4,514	123,800	0

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	25,334人	22,957人	10.4%
下半期計 (b)	24,185人	25,826人	△6.4%
(参考)10~2月	21,451人	21,243人	1.0%
10月	5,325人	4,451人	19.6%
11月	4,313人	4,463人	△3.4%
12月	5,676人	5,077人	11.8%
1月	2,591人	3,603人	△28.1%
2月	3,546人	3,646人	△2.7%
3月	2,734人	4,586人	△40.4%
合計(a+b)	49,489人	48,783人	1.4%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

〔 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計	報告月	口頭	文書	合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート					
10月	0	0	0	0	0	0	10月			
11月	0	0	0	0	0	0	11月			
12月	0	0	0	0	0	0	12月			
1月	0	0	0	0	2	2	1月			
2月	0	0	0	0	0	0	2月			
3月	0	0	0	0	0	0	3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者から評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・手続きの簡素化は可能か ・コンサート開場待ちの場所が寒い	効率的な処理について工夫を続ける。 寒さのため外から館内に場所を変更したがより対応に工夫する。
職員対応		
事業内容	・ ・	
その他	・ ・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし。
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		該当なし。	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・下期は上期に引き続き照明器具のLEDタイプへの更新を実施、施設運営における省エネルギー化を推進した。白熱灯を優先しているが今後は対象を蛍光灯にも拡大し、さらに省エネルギー対策を継続していく。 ・東日本大震災による影響は、施設・設備には無かったが、余震と計画停電の影響で一部利用者へは利用日変更などで対応した。 ・今年度下期に「ほどがや区民まつり」の会場の一部として協力、子どもに重点をおいた企画イベントの実施日などにより地域住民を中心として県民にとってこれまで以上に親しみやすい施設となった。またオフィシャルアカウントによるツイッターを活用し、施設の空き状況や神奈川フィルの公開リハーサル情報などの広報を実施した。 ・窓口や舞台での人的対応の水準向上にも取り組み、さらに県民密着の施設運営を行っていく。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具のLED化など、省エネルギーに積極的に取り組んでおり、節電への対応は評価できる。今後とも、節電に努めていただきたい。 ・多様化する利用者ニーズへの対応に努め、概ね良好な管理運営がなされている。 ・県民の生活の場に位置しているかながわアートホールが、地域の方々に音楽に親しんでいただき、身近に音楽を体験できる環境を提供するため、引き続き、地域と連携したイベントの実施や、多様な広報を実施し続けていただきたい。